

県内60自治体中19位の財政力いかして



物価高から暮らしを まもる市政へ

日本共産党

藤嶋 よし子

■1954年飯塚市生まれ ■神戸女子商業高校中退 ■会社員等を経て、若宮農民組合書記長、農民組合福岡県連書記長等 ■2018年宮若市議（1期）
■夫は元宮若市議の藤嶋厚

宮若市は、トヨタ自動車を核とする自動車関連産業など大手企業があり、県内でも高い財政力がありながら必要以上にためこんでいます。いまこそ物価高にあえぐ市民のためにつかうべきです。

県平均よりも高い 国保税引き下げを

モデル世帯の保険税額試算

宮若市	飯塚市	田川市	県平均
43.3万円	37.2万円	38.8万円	42.4万円

※年収400万円・4人世帯（妻が専業主婦、子は小学生）

自由につかえる
財政調整基金 **36億2500万円**
R5年度決算

宮若市 **151,000円**

直方市 **87,800円**

福岡市 **21,900円**

人口1人あたりにすると宮若市は福岡市の7倍

高校卒業まで 医療費を完全無料に



長年子どもの医療費助成を広げてきた日本共産党。昨年、高校卒業までの助成を実現。今度は自己負担なしの完全無料化をめざします。

中学校給食の 無償化を



「国の負担で無償化を」一共産党が提案した意見書が採択、国に届けられました。国はようやく小学校については無償化をきめました。今度は中学校での実現を。

高齢者の補聴器 購入に補助を

高齢者の補聴器購入に対する補助制度が全国的に広がっています。お年寄りの社会生活を支える大事な制度です。

県内で実施している自治体

田川市、小竹町、みやこ町、大刀洗町、豊前市、大野城市、吉富町、上毛町

3歳未満児も 保育料無料に



3歳未満児については非課税世帯に限定されていますが、自治体独自の支援が広がっています。若者世代の人口減少に歯止めをかけるためにも求められます。

物価高対策の特効薬は、

消費税減税・インボイス廃止

消費税減税・廃止は、総選挙でもほとんどの政党が主張した国民的要求です。

まず
5%にもどして
景気回復を!